活動団体「成果物」について　※4月配布資料より抜粋

- 地域の構想を書き示したコンセプトペーパー（通称「マンダラ」）
- ステークホルダーマップ
- 地域の構想の核となる事業の概要（３つ以内）（事業のタネシート）

・中間共有会において、作成中の成果物の案（ステークホルダーマップは除く）を発表資料に組み込む
→ 2025年２月初旬～中旬頃に最終版を提出
・全国の中間支援主体が集まる「中間支援ギャザリング」（2025/2/27（木）28（金）東京）に
おいてもその内容を活用

※ 成果物としているが、活動を進める中で使っていただけるもの。そのため、環境省に提出するために作成するのではなく、活動の中で作成したものを年度末に提出するという認識でお願いしたい

事業のタネシート

※「なぜその事業をやるのか」、「その事業を行うことでどんな課題が解決されるのか／どんな変化が起こるのか」などを整理し、事業のストーリーを検討したり、シートを基に説明し、シートの内容を改良していくことでストーリーを磨くツールです。

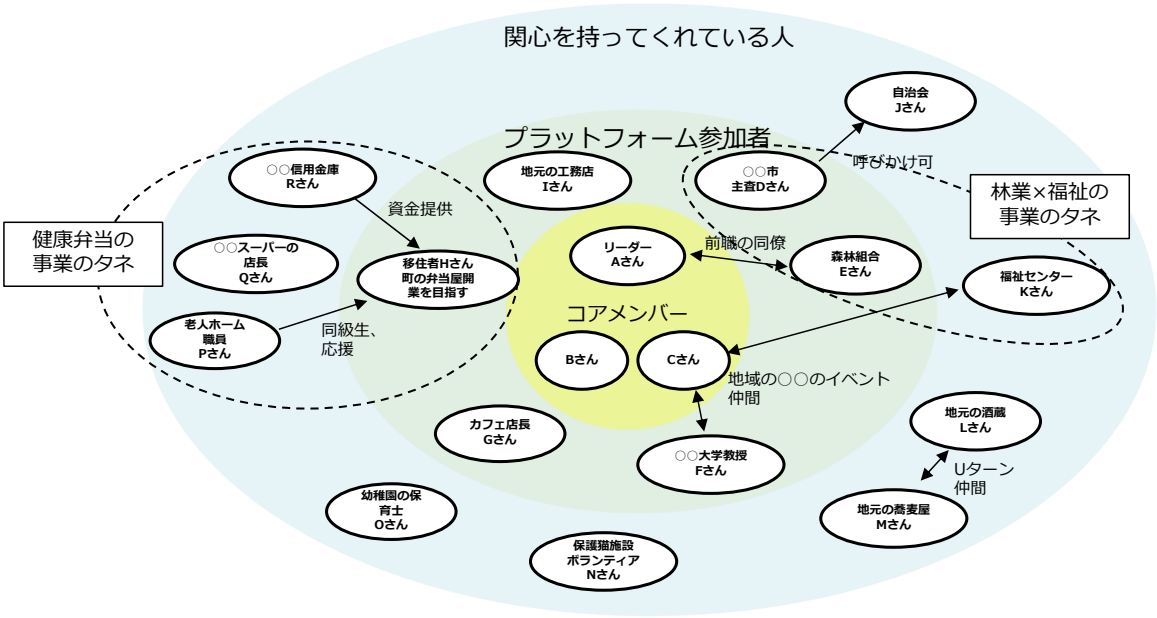
活動地域・団体名：

事業名称：事業名を記載してください。		
あらすじ		
事業の骨子に基づくあらすじを記載してください。		
ストーリー		
あらすじに地域の熱い想いを肉付けしたストーリーを記載してください。		
事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	地域版マンダラから事業に関連する「ありたい未来」を抽出	事業化を進めるにあたっての課題、ボトルネックとなっていることなどを記載してください。○○について検討できていないなどでも構いません。
②課題	地域版マンダラから事業に関連する「地域課題」を抽出	
③なぜこの事業をやるのか（Why）	①と②から、事業でどんな課題を解決し、地域をどうしたいのかを検討してください。	
④地域資源	地域版マンダラから事業に関連する「地域資源」を抽出	
⑤商品・サービスの具体的な内容（What）	地域版マンダラの「取組」をもとに、誰を対象に、どのような価値を提供するのかを記載してください。	
⑥担い手（Who）	地域版マンダラから事業の「担い手」を抽出（またはステークホルダーリストから抽出）	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	この事業により地域内で循環するヒト・モノ・カネ・コトを記載してください。	課題等を解決するために必要な技術を持った人・企業を記載してください。具体的に想定できない場合は、必要な技術等で構いません。
⑧事業で生じる成果	地域版マンダラの事業にに関連する「成果」をもとに、事業によって生じる効果、地域に還元される成果を深堀して記載してください。	

ステークホルダーマップ（非公開）

・活動団体のみなさまを取り巻く、地域の関係者とその関係性を図で表してください。
・次の要素を含めてください。ステークホルダーとその関係性・役割/プラットフォームのコアメンバー/事業主体・応援者
・用途：コアメンバー内での地域の関係者の情報の整理・共有に使えるもので、作成が目的ではなく、これを元に、その後どう動いていくかをメンバー間で話し合うことが本質です。
　　具体的には、現状のプラットフォームの形・関係者の把握とそれを元に、プラットフォームやコアメンバーに今後巻き込みたい関係者の特定、どういう関わり方をしてほしいかの整理に活用できます。
※この図を公開することはありません。

この説明文は削除してください。



記載例

※この図は参考イメージです。削除してください。

マンダラ

・マンダラとは、
　地域のありたい未来、解決したい地域の課題、未来に向けた取組と期待される成果、取組に活用できる地域の資源を一枚に整理し、その「つながり」や「構造」を見える化するツールです。

・決まった形はないため、それぞれの地域で自由に図に表してください。
・用途：マンダラを作ることで、地域のありたい姿の実現のために、どの課題を、どんな資源を使った事業で解決していくことができるか【取組】（≒事業のタネ）とその結果地域にもたらされる【成果】を考えるのに役立ちます。

この説明文は削除してください。